

放課後子ども教室だより

国見っ子わんぱく広場

令和7年12月20日(土)訪問

～今回は、世代間交流(お正月遊び、餅つき)です！

国見っ子わんぱく広場は、国見小学校の1～3年生の子どもたち79名が登録しており、地域のボランティアの皆さんに見守られながら年間を通して活動しています。この日は、寿クラブの皆さんも一緒に世代間交流を行いました。

2グループに分かれて、「餅つき体験」と「クリスマスリース作り」を行いました。その後、みんなで「お正月遊び」を行い、ついた餅を使って作ったお雑煮とあんこ餅を参加者全員で食べました。

大学のボランティア説明会で登録してくれた学生に案内を出し、当日は6名の学生がボランティアスタッフとして、子どもたちと一緒に活動しながらサポートしていました。

寿クラブ会長の声



昨年は、凧揚げをしました。今年も一緒に活動できてうれしいです。子どもたちは、私の孫よりも若いので、無邪気でかわいいです。また、孫みたいに接することができるので、本当にかわいいなあと思います。

自分が子どもの頃にあった、季節を感じられる文化が薄れているので、それを経験できる機会は、とてもよいと思います。



学生ボランティアの声



【クリスマスリース作り】



【つきたてのお餅を実食】



【寿クラブの方々の協力】



【福笑いで一緒に活動】



【千本杵で餅つき体験】



【臼と杵を使った餅つき体験】

子どもたちの感想

おじいちゃんたちが強く勢いよく餅をついていたのがすごいと思います。本物の杵は初めてだったけど、重くて振り上げられなかったです。

国見っ子わんぱく広場では、8月と12月に社会福祉協議会と連携し、特別活動を行っています。町事業として単独で行うよりも、地域に広がることで地域の目が子どもたちに向き、子どもたちも地域の人においさつをしたり、地域を身近に感じたりできます。子どもも大人も、みんなの笑顔がとても素敵でした。